



港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

7月園だより

令和2年6月29日

June 29, 2020

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai



嬉しいね、楽しいね。

園長 河合 晴美

無事に始業式、入園式を終え、6月は分散登園ではありましたが、子どもたちの元気な声が響く活気ある幼稚園となりました。毎日、小学校の玄関口から入ってくる子どもたちの足取りは軽やかで、時に手を振りながらやってくる姿に、微笑ましい登園のひとときを過ごすことができました。また、年齢に応じて少しずつ遊びを広げ、新たな生活の仕方を身に付けていく子どもたちの適応力に逞しさを感じています。登園した子どもたちの姿を教職員全員で追いながら、それぞれの子どもたちが感じていること、発見したことなどに「嬉しいね」「楽しいね」と返しながら、チームで保育を行う充実した日々を送ることができました。保護者の皆さまには、不規則な登園日、登園時間に御対応いただきまして、誠に感謝申し上げます。

さて、3歳児は、幼稚園での生活をそれぞれのペースでとらえていく様子が見られます。毎回同じ玩具に触れることから始める子、オタマジャクンが大好きになった子、教員に声を掛けられることが恥ずかしい子・・・など様々な姿の中にも、自分で一步一步確かめながらすすむ新しい毎日となっています。そして、笑顔が増えてきました。

4歳児は、だいぶ声が出るようになり、新しい担任と同じ動きをしながら手遊びを楽しんでいます。遊びの中で思ったこと、感じたことを伝えようと、一所懸命に言葉を探し、思いが伝わると満足する表情が見られます。

5歳児は、待ち望んでいた学級での生活です。友達同士声を掛け合い、距離を意識しながら行動する姿さえ見られます。年長児としての意識も高く、気持ちが同じ方向にある友達の存在が嬉しく、関わりながら遊び、次の行動へと進めています。

どの学年も大きく成長した1か月でした。その中で、どの学級も小さな生き物や栽培物・収穫物に関わる驚きや発見がありました。そして、その場にいる友達や先生と思いを共有・共感し合う、幼稚園ならではの場面が多く見られました。「○○だね・・・」と微笑むと、答えてくれたり、反応してくれたりする温かい関わりは安心感となり、明日につながる新たな一歩となっています。



<園庭での3歳児>



<4歳児の遊び>



<味噌の天地返しを見る5歳児>

